

令和元年度版 改善計画

学校名：甲斐市立敷島北小学校

No.	項目	現状と課題	H32年度に目指すべき状態	①H31年度に実施する内容 ②H32年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	・協議事項の数が多いが、協議の必要性のないものもある。	・協議事項と確認・連絡事項を区別して会議にかける。	① 協議事項と確認・連絡事項を明確にする。 ① 確認・連絡事項は、伝達場所（職員会議・終礼等）、伝達方法（口頭・文書等）を明確化する。 ① 伝達・連絡事項は、文書・掲示板・情報機器（校務支援システム・メール）を活用し、打合せをできるだけ少なくする。	
2	学校行事の負担軽減	・教職員数が少ないため、行事に際しての一人あたりの負担が大きい。	・行事に関わる負担の軽減を目指す。	① 行事の規模、実施時期等を検討する。 ② 校務分掌、業務量の適正化を検討する。	
3	校内組織の見直し	・教職員数が少ないため、校務分掌が他校より重なる。	・不易と流行の視点から、常に、校務分掌の適正化を目指す。	① 出張が重なった場合、児童の安全確保の視点から、精選する。 ② 分掌の内容を見直し、業務の精選を図る。	
4	業務の効率化	・個人がそれぞれの方法で保存している文書がある。	・電子化した方が合理的・効率的な文書を全員で確認することを目指す。	② 必要な文書を電子化、電子化した文書を保存し、次年度も活用できるようにしておく。	
5	部活動の負担軽減				
6	地域人材の活用	・おやじの会、母親の会、登下校の見守りなどの支援を受けているが、さらなる人材の発掘、活用を目指す。	・地域人材の活用拡大を目指す。	① 学習支援ボランティアなど、地域ボランティアの充実、活用内容を検討する。	
7	（学校独自の項目）	・教職員数が少ないため、一人で、いくつもの仕事をこなさなければならない。	・教職員が助け合う環境づくりを目指す。	① 管理職等を活用して、印刷・コピー等、簡単な仕事は積極的に任せる。	

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村教育委員会へ提出する。

A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった

※様式は、必要な項目が含まれていれば、適宜、変更して使用して差し支えないこと